

すぐに役立つ 地域・刑事警察官

一件書類 記載例集

任意捜査編

～頻出20事例と一口メモ～

【第2版】

地域・刑事実務研究会 編著

※この書籍は部内用です。お取扱いには御注意ください。

立花書房

第2版監修のことば

地域警察官は、日々発生する事件の処理に当たって、犯人の逮捕、危険の防止及び現場保存等の現場における初動的な措置を行うことを責務としているところ、事案によってはこれにとどまらず、事件の発生から最終的に検察官へ事件送致するまでの捜査の全過程に関わることもあり、その具体的職務内容は多岐にわたっている。

そして、自ら捜査に関わった事件については、事案に応じてさまざまな捜査書類を作成しなければならない、多忙な中で数多くの書類作成に迫られることも少なくない。

ところで、地域警察官が捜査書類を作成するときには、取り扱う事件の性質上、司法警察職員捜査書類簡易書式例に定められた簡易書式を使用することも多々あるものと思われる。

簡易書式といえども、証拠としての価値、重要性は基本書式と変わりなく、将来、公判において犯罪の立証に用いられることを念頭に置いて作成しなければならない。したがって、その記載に当たっては、内容の正確さ及び読み手にとっての分かりやすさに留意しつつ、手際よく迅速にとりまとめることが要求される。

若手警察官や地域警察官の皆さんの中には、事件を扱い捜査はしたものの、捜査書類作成の段階になって、記載の仕方がよく分からず、参考書が欲しいと感じた経験をお持ちの方はおられないだろうか。これまで、簡易書式による記載例を集めた書籍は数少なかったように思われ、そのような書籍の必要性を感じていた折、立花書房出版部の馬場野武次長から、「地域警察官向けの一件書類記載例に関する書籍を出版したいので、その監修をお願いしたい。」との依頼を受けた。

日々、地域警察官が作成した捜査書類を目にし、そのご苦勞を感じている者として、少しでも手助けができればと思い、その依頼を喜んでお引き受けし、本書の初版本「すぐに役立つ地域警察官一件書類記載例集～頻出18事例と一口メモ～」を出版した。

その後、ありがたくも同書は好評をいただき、この度、平成30年の司法警察職員簡易書式例の全部改正による対象事件拡大に対応するなどのアップ・ツー・デートをして、本書を出版する運びとなったものである。

「すぐに役立つ地域・刑事警察官一件書類記載例集〔第2版〕【任意捜査編】～頻出20事例と一口メモ～」は、関連する捜査書類関係の書籍等进行分析・参考にした上で、地域警察官や若手警察官向けに、簡易書式を用いた捜査書類の記載例を一件書類形式にまとめて、構成したものである。

数多くの事例に基づく記載例を収録しているが、事案の処理に当たり、各地検との合意の下に運用されている書式と多少の違いがある場合には、各都道府県警察で決められた令達・指導に従っていただきたい。

本書が多くの若手警察官や地域警察官の執務の一助となれば幸いである。

最後に、本書の改訂出版に当たり、執筆を担当した方々を始め、企画・編集・校正等で全般的にお世話になった立花書房出版部馬場野武次長、校正等で尽力していただいた本山進也参与等には、この場をお借りして、心より敬意と謝意を表する次第である。

平成31年1月

地域・刑事実務研究会顧問
東京区検察庁上席の検察官 総務部長 殿 井 憲 一

目 次

第2版監修のことば

第1章 万引き事件一件書類記載例

事例1 窃盗（万引き①）について…………… 3

（送致書，犯罪捜査報告書，被害届，供述調書，写真撮影報告書，任意提出書，領置調書，還付請書，取調べ状況報告書，供述調書，身上調査照会書，身上調査照会回答書，犯歴照会結果報告書）

事例2 窃盗（万引き②）について…………… 21

（送致書，犯罪捜査報告書，被害届，写真撮影報告書，任意提出書，領置調書，還付請書，供述調書，取調べ状況報告書，供述調書，個人照会結果報告書，身柄引請書，前科照会書，前科回答書，身上調査照会書，身上調査照会回答書）

第2章 乗り物盗事件一件書類記載例

事例3 窃盗（自転車盗）について…………… 43

（送致書，犯罪捜査報告書，被害届，実況見分調書，任意提出書，領置調書，還付請書，取調べ状況報告書，供述調書，身上調査照会書，身上調査照会回答書，犯歴照会結果報告書）

事例4 窃盗（オートバイ盗）について…………… 55

（送致書，犯罪捜査報告書，被害届，実況見分調書，任意提出書，領置調書，還付請書，被害品確認書，取調べ状況報告書，供述調書，身上調査照会書，身上調査照会回答書，犯歴照会結果報告書）

第3章 置引き事件一件書類記載例

事例5 窃盗（置引き）について	71
(送致書, 犯罪捜査報告書, 被害届, 供述調書, 実況見分調書, 写真撮影報告書, 任意提出書, 領置調書, 還付請書, 所有権放棄書, 任意提出書, 領置調書, 還付請書, 被害品確認答申書, 取調べ状況報告書, 供述調書, 犯歴照会結果報告書, 身上調査照会回答書)	

第4章 (地域) 横領事件一件書類記載例

事例6 占有離脱物横領（自転車）について	97
(送致書, 犯罪捜査報告書, 被害届, 実況見分調書, 任意提出書, 領置調書, 仮還付請書, 取調べ状況報告書, 供述調書, 身上調査照会書, 身上調査照会回答書, 犯歴照会結果報告書)	

事例7 遺失物横領（財布）について	111
(送致書, 犯罪捜査報告書, 供述調書, 取調べ状況報告書, 供述調書, 任意提出書, 領置調書, 還付請書, 身上調査照会書, 身上調査照会回答書, 犯罪歴照会結果報告書)	

第5章 詐欺事件一件書類記載例

事例8 詐欺（無銭飲食）について	123
(送致書, 犯罪捜査報告書, 供述調書, 取調べ状況報告書, 供述調書, 被害届, 犯歴照会結果報告書)	

事例9 詐欺（無賃乗車）について	135
(送致書, 犯罪捜査報告書, 供述調書, 取調べ状況報告書, 供述調書, 被害届, 犯歴照会結果報告書)	

第6章 暴行・傷害事件一件書類記載例

事例10 傷害（警察官の現認）について…………… 147

（送致書，犯罪事実現認報告書，被害届，診断書，写真撮影報告書，供述調書，取調べ状況報告書，供述調書，在籍照会結果報告書，犯歴照会結果報告書）

事例11 傷害（110番通報により認知①）について…………… 165

（送致書，犯罪捜査報告書，被害届，診断書，実況見分調書，写真撮影報告書，供述調書，取調べ状況報告書，供述調書，犯歴照会結果報告書，身上調査照会書，身上調査照会回答書）

事例12 傷害（110番通報により認知②）について…………… 185

（送致書，犯罪捜査報告書，被害届，診断書，実況見分調書，写真撮影報告書，供述調書，供述調書，取調べ状況報告書，供述調書，身上調査照会書，身上調査照会回答書，犯歴照会結果報告書）

事例13 暴行（警ら中に認知）について…………… 205

（送致書，犯罪捜査報告書，供述調書，取調べ状況報告書，供述調書，個人照会結果報告書，身柄引請書，前科照会書，前科回答書，身上調査照会書，身上調査照会回答書）

第7章 凶器・侵入用具携帯違反事件一件書類記載例

事例14 軽犯罪法（第2号・凶器携帯）違反について……………221

（送致書，犯罪事実現認報告書，任意提出書，領置調書，所有権放棄書，取調べ状況報告書，供述調書，証拠品の測定及び写真撮影報告書，身上調査照会書，身上調査照会回答書，犯歴照会結果報告書）

事例15 軽犯罪法（第3号・侵入具携帯）違反について……………235

（送致書，犯罪事実現認報告書，任意提出書，領置調書，所有権放棄書，取調べ状況報告書，供述調書，証拠品測定等報告書）

第8章 軽犯罪法違反事件一件書類記載例

事例16 軽犯罪法（第28号・追隨）違反について……………247

（送致書，犯罪捜査報告書，任意提出書，領置調書，所有権放棄書，実況見分調書，供述調書，取調べ状況報告書，供述調書）

事例17 軽犯罪法（第32号・立入禁止場所等侵入の罪）違反について……………263

（送致書，犯罪事実現認報告書，実況見分調書，任意提出書，領置調書，所有権放棄書，取調べ状況報告書，供述調書，身上調査照会書，身上調査照会回答書，犯歴照会結果報告書）

事例18 軽犯罪法（第33号・はり札の罪）違反について……………277

（送致書，犯罪事実現認報告書，実況見分調書，任意提出書，領置調書，所有権放棄書，取調べ状況報告書，供述調書，身上調査照会書，身上調査照会回答書，犯歴照会結果報告書）

第9章 めい規法違反事件一件書類記載例

事例19 酩酊者規制法（第4条第1項）違反について	293
（送致書，犯罪事実現認報告書，供述調書，取調べ状況報告書，供述調書，写真撮影報告書，酒酔い・酒気帯び鑑識カード，保護歴照会結果報告書，身柄引請書，犯歴照会結果報告書，身上調査照会書，身上調査照会回答書）	

第10章 迷惑防止条例違反事件一件書類記載例

事例20 迷惑防止条例（ちかん行為）違反について	311
（送致書，犯罪捜査報告書，供述調書，取調べ状況報告書，被害届，供述調書，身上調査照会書，身上調査照会回答書，犯歴照会結果報告書）	

監修者紹介	324
-------------	-----

すぐに役立つ 地域・刑事警察官
一件書類記載例集 **任意捜査編**
〔第2版〕
～頻出20事例と一口メモ～

第1章 万引き事件一件書類記載例

事例1

窃盗（万引き①）について

想定事例

平成〇〇年〇月〇日午後2時20分頃、〇〇県警察〇〇警察署地域1係千葉太郎
巡查部長が中央交番において在所勤務中、本部指令課から〇〇警察署に対する「〇
〇市〇〇区〇〇2丁目3番4号ひぐまストアー中央店で万引き事件発生。被疑者
は年齢50歳くらいの女、店長が犯行を現認し、店内で犯人を確保している。」旨
の110番指令を傍受して、相勤者の東金三郎巡查部長とともに現場に急行した。

同店内の事務室には被疑者と同店店長・山田晋作がおり、店長から事情聴取した
ところ、「午後2時頃、店内の巡回をしていたら、この人がお茶1袋を手提げバッ
グに入れたのを見た。この後どうするつもりなのかと見てみると、精算せずにレジ
前を通過して店外に出たので、急いで後を追い、声をかけた。犯行を認めたので事
務室に連れてきた。」とのことであった。

被疑者は、犯行を自供しており、事務室の椅子に座ってうつむいている。

(簡) 様式第 8 号

<div>不拘束</div>		現 行		関		主 任 検 察 官	
<div>送 致 書</div> <div>送 (○刑) 第123号 平成○○年○月○日</div> <div>○○ 区 検 察 庁 検 察 官 天 野 武 殿</div> <div>○○ 県 ○ ○ 警 察 署 長 印 司法警察員 警 視 湯 山 武 信 <div>湯 田</div></div> <div>下記被疑事件を送致する。</div>							
検 番 号		検 第 号					
罪 名 , 罰 条		窃盗 刑法第235条					
被 疑 者 の 氏 名 等		高 橋 淳 子 昭和○○年○月○日生 (48歳) 性別 女					
前 科 上		添 付 月 日 照 会					
外 国 人 登 録		<div>添 付</div> 月 日 照 会					
逮 捕 の 日 時		年 月 No					
身 柄 連 行		月 日 午 時 分					
		有 <div>無</div>					
犯 罪 発 覚 の 端 緒 ※1		ひぐまストアー中央店店長 山田晋作からの110番通報による。					
犯 罪 事 実		犯罪捜査報告書 記載のとおり					
犯 罪 の 情 状 等 に 関 見 す る 意 ※2		被疑者は夫と子供がいる家庭の主婦で、犯行後その非を悔いて更生を誓っており、被害もすでに回復されている。 しかし、同人は過去に万引きによる微罪歴1件を有しながら重ねて本件犯行を敢行するに至ったものであり、再犯のおそれもあることから相当処分を願いたい。					
捜 査 主 任 官		警部補 船 橋 太 郎 警電 ○○○—○○○					

(注意) 左上欄外及び前科、身上、身柄連行欄の各該当部分に赤○を付け、前科・身上照会中の場合は、月日を記入すること。



- ※1 犯罪発覚の端緒欄は、「被害店舗店長からの110番通報による。」などを書いてよい。
- ※2 情状意見は、起訴相当と考えるときは嚴重処分、起訴か不起訴かの境界事案でいずれでもよいと考えるときは相当処分、不起訴(起訴猶予)相当と考えるときは寛大処分と記載する。
本事例は、自己消費目的の万引き事案であり、被害額も多額とはいえないが、同種の犯罪歴を1件有していることから、相当処分意見としたものである。

第2章 乗り物盗事件一件書類記載例

事例3

窃盗（自転車盗）について

想定事例

平成〇〇年〇月〇日午前〇時〇分頃、〇〇県警察〇〇警察署地域1係一宮巡查部長は、相勤者の佐々木裕巡查部長とともに管内を徒歩警ら中、〇〇市中央区北町〇番地先で、施錠設備のない自転車に乗った若い男を発見した。

一宮巡查部長は声をかけて停止させ職務質問を実施、住所・氏名を尋ねると、同人は態度に落ち着きがない様子で、「〇〇2丁目に住む安部です。」と答え、自転車は自分のものだと答えた。

その場で自転車の車体番号を本部総務部情報管理課照会センターに照会した結果、本年〇月〇日に当署に被害届が提出されている自転車であることが判明したため、追及したところ、「〇月〇日に JR 〇〇駅西口の駐輪場から盗んできた自転車です。」と自供した。

その後、捜査の結果、犯行日時・場所等から自転車盗の被疑者であることが判明した。

第3章 置引き事件一件書類記載例

事例5

窃盗（置引き）について

想定事例

平成〇〇年11月20日午後3時30分頃、〇〇県警察〇〇警察署地域1係二沢清巡査は、〇〇交番において立番勤務中、株式会社コブラプラザ保安員島田右近から電話で「置引きの犯人を捕まえている。」との訴え出を受け、直ちに〇〇市〇〇区〇〇5丁目7番1号にある同店に急行した。

同店2階にある事務室には、被疑者の女性と保安員島田右近がおり、保安員から事情聴取したところ、「今日の午後3時15分頃、この女の人が2階の婦人靴売り場においてこのバッグを盗み、水色ビニール袋に入れ、そのまま店の外に出たので捕まえてここに連れてきた。」と申し立て、机の上に置いてあるバッグ、水色ビニール袋を指さした。

被疑者も、「2階の売り場で置いてあったバッグを盗んだ」旨犯行を自供している。

第4章 （地域）横領事件一件書類記載例

事例6

占有離脱物横領（自転車）について

想定事例

平成〇〇年〇月〇日午後〇時〇分頃、〇〇県警察〇〇警察署地域 1 係甲野一郎 巡査部長は、相勤者の丙野四郎巡査とともに受持管内を夜間警ら中、〇〇市〇〇 1 丁目〇番〇号先路上において、無灯火の自転車に乗って進行してくる男を認めた。

無灯火を注意すべく停止させたところ、同自転車は鍵が壊れて前輪泥よけに真新しいシールが貼付され、そのシールに「村中」と記名されていたので、不審と認め職務質問を開始した。

男は自転車について曖昧な返答であったので、自転車の防犯登録及び車体番号により本部照会センターに照会したところ、同自転車は平成〇〇年〇月〇日付で当署から盗難手配がなされており、前輪泥よけに黒色マジックで「山本」と記入してあったこと等が確認できた。

この事実につき男を追及したところ、「1 週間ほど前に自宅付近の空き地に置いてあった自転車を発見したので、家に運び、使っていた」旨を自供した。

その後、捜査の結果、犯行日時・場所等から、占有離脱物横領事件と判明した。

第5章 詐欺事件一件書類記載例

事例8

詐欺（無銭飲食）について

想定事例

平成〇〇年9月14日午後10時35分頃、〇〇県警察〇〇警察署地域2係一宮育男巡查部長は、管内を自転車警ら中、本部指令課から〇〇警察署に対する「〇〇市〇〇区本町1丁目1番5号大丸ビル地下1階居酒屋『しんのすけ』で無銭飲食事件発生。被疑者は年齢60歳くらいの男、店長が犯行を現認し、犯人はまだ店内にいる。」旨の110番指令を傍受して、相勤者の平方昭生巡查部長とともに現場に急行した。

店内に入ると、入口に店長の金山友介と被疑者の男（外藤三郎）が立っており、店長の金山に事情を聞いたところ、「この男が店に来て普通に飲食し、閉店時間になったので代金の支払いを請求すると、『金は持ってない。』と言い出した。」とのことであった。

被疑者の男に事実を確認したところ、黙って立ったまま頷いている。

第6章 暴行・傷害事件一件書類記載例

事例10

傷害（警察官の現認）について

想定事例

平成〇〇年〇月〇日午後3時頃、〇〇県警察〇〇警察署地域1係田中五郎巡査が管内を徒歩警ら中、〇〇市〇〇区〇〇町12番地ホテルラルフ前路上付近において、大声で言い争う声が聞こえたのでその方向を見たところ、年齢30歳くらい、スポーツ刈りで白色ポロシャツを着た男（被疑者）が、年齢35歳くらい、紺色ブレザーの男（被害者）の胸倉を左手でつかみ、右手拳で1回殴打するのを現認した。

田中巡査は、直ちに約10メートル離れた現場に駆け寄って止めに入り、事情聴取をしたところ、被疑者が「この男が俺にぶつかってきて謝らないから殴った。」と言って被害者を指差したので、同人から事情聴取をしたところ、「わざとではない。いきなり殴って怪我をさせるなんて許せない。捕まえてくれ。」と申し立て、被疑者が一方的に相手を殴り、負傷させたことが判明した。

被害者の左顔面は赤く腫れて、口の中が切れて血がにじんでいた。

第7章 凶器・侵入用具携帯違反事件一件書類記載例

事例14

軽犯罪法違反（第2号・凶器携帯）について

想定事例

平成〇〇年〇月〇日午後〇時〇分頃、〇〇県警察〇〇警察署地域1係千葉太郎巡査部長は、駅前交番において立番勤務中、富士見町商店街通りを中央公園方向から歩いて来る白色ジャンパーの男（被疑者）が急に視線をそらして足早に立ち去ろうとしたので、呼び止めて職務質問をした。

同人を交番内に入れて所持品の呈示を求めたところ、ジャンパーの左ポケット内から財布と学生証を取り出したが、他にも何かを隠し持っている様子が窺われたので、承諾を得てジャンパーの上から触れると、右ポケット内に硬い金属製様の物が入っていた。

呈示を求めたところ、男はしぶしぶジャンパーの右ポケットから折りたたみ式ナイフ1本（刃体の長さ約5.5センチメートル、刃体の幅約1.5センチメートル）を提出し、「けんかに備えて護身用に持ち歩いている。」と申し立てたので、同人を正当な理由なく凶器を隠し持っていた軽犯罪法違反（凶器携帯）と認めた。

第8章 軽犯罪法違反事件一件書類記載例

事例16

軽犯罪法違反（第28号・追随）について

想定事例

平成〇〇年〇〇月〇〇日午後〇時〇分頃、〇〇県警察〇〇警察署地域1係二沢清巡査は、〇〇交番において在所勤務中、基地局から「〇〇町〇丁目〇番先路上で、女子中学生が40歳くらいの自転車に乗車した男につきまとわれた事案が発生。現場へ向かえ。」との電話による指示を受け、直ちに現場に向かっていたところ、JR〇〇線〇〇駅東側の路上に自転車を止めて通行中の女子中学生ばかりに視線を向けている不審な男を発見した。

二沢巡査が男に対し職務質問したところ、「人を待っているだけだ。」と慌てた様子で返答したことから、基地局から指示があったつきまといの被疑者であるとも疑われたため、更に「いつから、誰を待っているのか。」と質問すると、やはり慌てた様子で落ち着きがなかった。

そこで、「女子中学生に声を掛けてつきまとったのではないか。」と追及すると、男は最初は黙り込んだが、事実を認めた。

署に同行後、女子中学生に男を確認させたところ、「あの男が〇〇〇付近で私に『名前教えて。』としつこく自転車でつきまといってきたのです。」と供述したので、同人を軽犯罪法違反（追随等の罪）の被疑者と認めた。

第9章 めい規法違反事件一件書類記載例

事例19

酩酊者規制法違反（第4条第1項）について

想定事例

平成〇〇年〇月〇〇日午後7時25分頃、〇〇県警察〇〇警察署地域1係杉江大將巡査部長は、〇〇駅前交番において立番勤務中、「〇〇区〇〇〇丁目〇番〇号立花商店前路上で、酔っ払いが暴れている。」との110番指令を傍受、直ちに現場に急行した。

現場に到着すると、一見して酔っ払いと分かるサラリーマン風の男（被疑者青田万々）が、赤い顔をしてふらつきながら「てめえら、けしからんぞ。」「なに一、俺に文句があるか。」などと通行人に向かって大声で怒鳴っているところであった。

10名ほどの通行人がおり、酔っ払った被疑者を遠巻きに避けて通り抜けている状態であった。

杉江巡査部長が、被疑者に近づき左腕をつかんで「人に迷惑をかけるんじゃない。あなたが一番けしからんですよ。」と言いながら制止すると、被疑者はしぶしぶ応じた。

第10章 迷惑防止条例違反事件一件書類記載例

事例20

迷惑防止条例（ちかん行為）違反について

想定事例

平成〇〇年12月3日午後8時20分頃、〇〇県〇〇警察署〇〇交番で地域第2係草野哲夫巡査部長が立番勤務中、年齢40歳くらいの会社員風の女性が、年齢30歳くらい、身長165センチメートルくらい、スーツ姿の男を連れてきて、「この男が私のお尻を触りました。」と訴え出てきた。

同巡査部長が女性から事情を聴くと、女性は、「本日午後8時10分頃、〇〇市〇〇町3丁目4番1号の歩道上を一人で歩いていると、この男が後方から追い抜いていく際に、私のお尻を一回触ったのです。私は、『何をするの。』と言って男の腕をつかんで『警察に行きますから。』と言ってここまで引っ張ってきました。」と申し立てた。

同巡査部長が男に間違いがないかどうか確認したところ、間違いのない旨を申し立てた。

＜監修者紹介＞

前東京区検察庁上席の検察官兼総務部長

殿井 憲一（とのい けんいち）

【略 歴】

「平成10年4月副検事任官」

静岡地方検察庁沼津支部，東京地方検察庁交通部，同庁八王子支部，同庁刑事部，東京区検察庁刑事部勤務を経て，平成20年4月法務省法務総合研究所教官。その後，立川区検察庁統括副検事，東京区検察庁総務部副部長，同庁刑事部副部長，同庁道路交通事故部長，同庁公判部長，同庁刑事部長，同庁総務部長兼上席の検察官を歴任し，令和元年11月退官。地域・刑事実務研究会顧問，交通事故・事件捜査実務研究会顧問。

【主要著書】 『交通事故事件捜査110講（新訂版）』

（共著，2003年，警察時報社）

『罪種別・事例中心

現行犯人逮捕手続書・緊急逮捕手続書・被害届作成ハンドブック』（編著，2016，立花書房）

『すぐに役立つ地域警察官犯罪事実記載要領

～頻出記載例と詳細解説～』（監修，2016，立花書房）

『すぐに役立つ地域警察官一件書類記載例集

～頻出18事例と一口メモ～』（編著，2016，立花書房）

『すぐに役立つ地域・刑事警察官一件書類記載例集

【強制捜査編】～頻出20事例と一口メモ～』（監修，2017，立花書房）

『交通事件犯罪事実作成実務必携

～道路交通安全法から交通関係特別法・刑法まで～』（監修，2017，立花書房）

『定番シリーズ 交通事件犯罪事実記載例集』（監修，2018，立花書房）

『すぐに役立つ地域・刑事警察官犯罪事実記載要領 〔第2版〕

～重要・頻出記載例と詳細解説～』（監修，2018，立花書房）

『定番シリーズ 現行犯・緊急逮捕手続書記載例集』（監修，2018，立花書房）

『地域警察官実務必携

～一件書類作成から犯罪事実記載等まで～』（監修，2019，立花書房）

★本書に関するお問い合わせは、下記URLを御参照ください。
<https://ssl.tachibanashobo.co.jp/contact/index.php>

部内用

すぐに役立つ地域・刑事警察官一件書類記載例集(第2版)
【任意捜査編】 ～頻出20事例と一口メモ～

平成31年2月1日 第1刷発行
令和5年10月1日 第4刷発行

編 者 地域・刑事実務研究会
発行者 橘 茂 雄
発行所 立 花 書 房

東京都千代田区神田小川町3-28-2
電話 03-3291-1561 (代表)
FAX 03-3233-2871
<https://tachibanashobo.co.jp>

平成28年12月15日 初版発行

©2019 地域・刑事実務研究会

印刷・製本／文唱堂印刷

乱丁・落丁の際は弊社でお取り替えいたします。